

パソコン教室の窓から (6)

NPO 法人コミュニティ NET ひたち
久保 裕

AI 時代を楽しく生きる

今年、日本ではAI時代の元年の年となるだろう。AI (Artificial Intelligence) は人工知能のこと。日本でパソコンが普及したのは1980年代である。それから40年近くが経過した。今では会社の事務所の机の上には必ずパソコンが一台は置かれている。そして家庭でもパソコンが生活の中に入り込んでいる。人間の足である車、自動車が各家庭に一台以上ある時代となり、同時に人間の頭の方もパソコンが家庭に一台、外出時にはスマートフォン (スマホ) を持って歩く時代となった。かつて各家庭に普及した固定電話と街角に置かれた電話ボックスはスマホに置き変わっている。パソコンに目 (カメラ) 耳 (マイク) 口 (スピーカー) が付いて、情報を送受信できる電話やメールの機能まで付きポケットに入れて持ち運びが出来るようになったのがスマホである。

現在よく使われているパソコンの記憶容量は1テラバイト (10の12乗) ぐらいになっている。一方、人間の脳の記憶容量は26テラバイトぐらいあるという研究報告がある。パソコンを26台結合して動かせば人間の能力と同じようなことが出来そうである。人間が学習し知識を記憶して様々な能力を身に付けて活動するように、パソコンに多くのデータを記憶させて、プログラミングした論理機能を働かせたものがAI (人工知能) である。2020年には小中学校にプログラミング教育が導入される予定。

このパソコンの機能を使うことによって、各種のゲームが開発されている。将棋をさしたりするパソコン、人間の声を聞いて反応するAIスピーカーなどが世に出てきている。自動車の衝突防止機能さらに自動運転機能などもその応用である。人間と同じような動作をするAI機能を装備したロボットは工場の現場で繰り返し作業を確実に行う。家庭ではロボット掃除機が活躍している。



自動走行ロボット
(写真はCAMロボット)



AIスピーカー
(写真はGoogle Home Mini)

AIスピーカーに話し
かけてみよう!!
「明日の天気は?」
「今日は何の日?」
「ラジオを聞かせてよ!!」

ひと昔前の子どものころはプラモデルやリカちゃん人形で遊んでいたものだ。今ではパソコンで動かすプログラミング・ロボット (CAMロボット) や会話ができるAIスピーカー (Googleホームなど) を4、5千円で買うことができる。お年玉の小遣いで買って、子どもや孫たちと楽しむ時代になっている。